

## 祝辞



同窓会を代表いたしまして、一言ご挨拶をさせていただきます。

暖かな春の日差しに誘われて、色とりどりの花が咲き始め、皆さんの門出をお祝いしているかのように美しい季節となりました。

新入生の皆さん、本日は、厳しい受験生活を乗り越えて、諏訪二葉高等学校へのご入学、誠におめでとうございます。

そして、ご立派にお子様を育ててこられた保護者の皆様も、本日の喜びは格別なものであると存じます。心よりお祝いを申し上げます。

ここで、同窓会長の私から少しだけ母校の歴史についてご紹介させていただきます。

本校は、明治四十四年に諏訪高等女学校として新設され、昭和二十八年に諏訪二葉高等学校と改称しました。そして、昭和六十二年に男女共学となりました。こうして、この諏訪の地で百十八年の長きにわたり多くの人材を育て、県内や国内はもとより海外各地で同窓生が活躍されております。

本校は皆さんが三年生になる、令和9年に、創立120周年を迎える歴史と伝統がある学校です。

本日、皆さんを、百十八年目の新入生、高校八十回生として、同窓会にお迎えいたします。皆さんは、中学校までの義務教育を終え、自らこの諏訪二葉高等学校を選んでこの場にいます。新しい高校生活は自分の将来の道を探していく新たなステージの始まりです。自分は何をしたいのか、何をすべきなのか、試行錯誤しながら、時には友や先輩と語り合い、時には先生に相談し、そして、卒業を迎える三年後には自分の進む道をしっかり見つけてください。

同窓会におきましても、在校生がより良い環境の中で高校生活を送られますことを願い、教育環境の整備や部活動の支援など、母校に対しまして、これまで惜しまぬ支援と協力をしてまいりました。そして、これからも精一杯応援してまいります。大変恐縮ですが、この場をお借りしまして同窓会費の納入につきましてもお願い申し上げます。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、先生方には、たくさんの可能性をもった若い芽を精一杯育ててくださいますようご指導と、保護者の皆様には、お子様への引き続き温かいご支援をお願い申し上げます。皆さんの高校生活が実り多いものになることを祈念して、お祝いのごあいさつとさせていただきます。

令和7年4月5日

諏訪二葉高等学校同窓会

会長 河西 美智与